

1.	①	11.	④	21.	④	31.	③	41.	①
2.	②	12.	②	22.	①	32.	②	42.	③
3.	④	13.	③	23.	①	33.	③	43.	③
4.	①	14.	①	24.	①	34.	①	44.	③
5.	②	15.	④	25.	③	35.	①	45.	③
6.	③	16.	③	26.	③	36.	①	46.	③
7.	①	17.	④	27.	④	37.	④	47.	①
8.	④	18.	②	28.	③	38.	③	48.	③
9.	①	19.	④	29.	④	39.	①	49.	②
10.	③	20.	①	30.	③	40.	①	50.	②

1.

解答 ①

【解説】

正解は①「a lot of」です。「a lot of ～」は「たくさんの～」という意味で、とても便利な表現です。なぜなら、②の「many」（たくさんの）が数えられる名詞（books, apples など）にしか使えず、③の「much」（たくさんの）が主に否定文・疑問文で数えられない名詞（water, time など）に使われるのに対し、「a lot of」は数えられる名詞と数えられない名詞の両方に使えるからです。④「some」は「いくつかの」という意味です。

◆補足：「a lot of」とほぼ同じ意味で「lots of」という表現もあります。こちらも数えられる名詞、数えられない名詞の両方に使え、少しカジュアルな響きになります。例：I have a lot of books. / I have lots of books. どちらも「私はたくさん本を持っています」という意味です。

2.

解答 ②

【解説】

正解は②「local」です。「その土地の、地元の、地域の」という意味の形容詞です。「I like to eat local food when I travel.」（私は旅行するとき、地元の食べ物を食べるのが好きです。）①「global」は「地球規模の、世界的な」で、反対の言葉です。③「special」は「特別な」、④「central」は「中央の」という意味です。

◆補足：local people で「地元の人々」、local train で「普通列車（各駅停車）」といった使い方もします。

3.

解答 ④

【解説】

正解は④「be made of」です。この表現は、何かが作られている基本的な材料について話すときに使われ、その材料がまだ見える状態のときに使います。例えば、「This desk is made of wood.」（この机は木でできています）。①「be made from」は元の材料が何か別のものになったときに使われます（例：「Wine is made from grapes.」）。②「be made in」は製造地（例：「made in Japan」）、③「be made by」は製作者に使われます。

◆補足：これは、動詞 make（作る）からの受動態の構文です。

4.

解答 ①

【解説】

正解は①「since」です。「～以来」という意味で、過去のある時点から現在まで、ある状態や動作が続いていることを示します。現在完了形と一緒によく使われます。「I have lived here since 2010.」（私は2010年からずっとここに住んでいます。）②「for」は「～の間」という期間の長さ、③「until」は「～までずっと」と継続の終わり、④「from」は単純な「～から」という起点を表します。

◆補足：since は「～なので」という理由を表す接続詞としても使われます。文脈で意味を判断しましょう。

5.

解答 ②

【解説】

正解は②「takes」です。動詞「take」には多くの意味がありますが、「It takes + 時間」の形で「（～するのに）時間がかかる」という意味を表すのは非常に重要な使い方です。問題文の主語 It は三人称単数なので、動詞に s がついて takes となります。「そこに着くのに約 1 時間かかります」という意味ですね。①「costs」は費用がかかる、③「makes」は作る、④「gives」は与える、という意味です。

◆補足：It takes + 人 + 時間 + to do の形で「（人）が～するのに（時間）がかかる」という文も作れます。例：It took me two hours to finish the homework.（その宿題を終えるのに 2 時間かかった。）

6.

解答 ③

【解説】

正解は③の **hiking** で、健康や楽しみのために野山などを長時間歩く「ハイキング」を意味します。日本語とほとんど同じように使えますね。他の選択肢は、①**walking** が「歩くこと」、②**running** が「走ること」、④**camping** が「キャンプ」と、それぞれ異なるアクティビティを指します。

◆補足：「ハイキングに行く」は **go hiking** と表現します。これは **go shopping**（買い物に行く）や **go fishing**（釣りに行く）などと同じ **go -ing**（～しに行く）のパターンです。**We are going to go hiking this weekend.**（私たちは今週末、ハイキングに行く予定です）。

7.

解答 ①

【解説】

正解は①「かわいい」です。「**cute**」は、赤ちゃんや子犬、小さな小物などに対して「かわいらしい、愛らしい」と感じる時に使う形容詞です。日本語の「キュート」と同じ感覚ですね。「**What a cute baby!**」（なんてかわいい赤ちゃんでしょう！）②「美しい」は **beautiful**、③「かっこいい」は **cool**、④「静かな」は **quiet** です。

◆補足：**pretty** も「かわいい」と訳されますが、**cute** はより無邪気な可愛らしさ、**pretty** は整った美しさを含む可愛らしさを表すことが多いです。

8.

解答 ④

【解説】

正解は④「**spaghetti**」です。日本語でもおなじみの「スパゲッティ」のことですね。イタリア料理のパスタの一種です。「**My favorite food is spaghetti.**」（私の好きな食べ物はスパゲッティです）のように使います。英語の「**spaghetti**」は数えられない名詞として扱われるのが一般的です。①は「ピザ」、②は「スープ」、③は「サラダ」です。

◆補足：「**pasta**」（パスタ）は、スパゲッティ、マカロニ、ペンネなど、小麦粉を練って作られるイタリアの麺類の総称です。つまり、**spaghetti** は **pasta** の一種ということになります。

9.

解答 ①

【解説】

正解は①「～と同じである」です。**be the same as** ～は、二つの物事が色、形、意見、性質などにおいて「同一である」ことを示す表現です。**Your bag is the same as mine.**（あなたのバッグは私のと同じです）のように使います。②「～と異なっている」は **be different from** ～、③「～に似ている」は **be similar to** ～、④「～より優れている」は **be better than** ～がそれぞれ適切な表現です。

◆補足：the same だけでも「同じこと、同じもの」という意味で使うことができます。レストランで、前の人と同じものを注文したい時に I'll have the same. (同じものをください) と言うことができます。とても便利な表現ですね。

10.

解答 ③

【解説】

正解は③「do volunteer work」です。「volunteer」は「ボランティア」、「work」は「仕事、活動」なので、これで「ボランティア活動をする」という意味になります。「work」は数えられない名詞なので a をつけたり、複数形にしたりしないのがポイントです。①「do my homework」は「宿題をする」、②「do some shopping」は「買い物をする」、④「do the housework」は「家事をする」という意味です。

◆補足：「volunteer」は名詞で「ボランティア活動をする人」そのものを指したり、動詞として「(自発的に) ~する」という意味でも使われます。例：I want to be a volunteer. (私はボランティアになりたいです。)

11.

解答 ④

【解説】

正解は④の hit で、「~を打つ、たたく」という意味の動詞です。野球でボールを打ったり、ドラムをたたいたり、誰かを(手で)たたいたりする動作を表します。他の選択肢を見てみましょう。①hold は「~を持つ、つかむ」、②hide は「~を隠す」、③kick は「~を(足で)ける」という意味です。体のどの部分を使う動作かを考えると、区別しやすいでしょう。

◆補足：hit は不規則動詞で、現在形・過去形・過去分詞形がすべて同じ hit です。He hit a home run. が「彼はホームランを打つ」なのか「打った」なのかは、文脈で判断します。また、音楽や映画の「大ヒット」もこの hit から来ています。

12.

解答 ②

【解説】

正解は②「変わる、~を変える」です。「change」は、「(物事が) 変わる」という自動詞としても、「(人が) ~を変える」という他動詞としても使える便利な単語です。「The weather changes quickly here.」(ここでは天気がすぐ変わります。)"I changed my plan." (私は計画を変えました。)

①「選ぶ」は choose、③「挑戦する」は challenge、④「請求する」は charge です。

◆補足：名詞としても「変化」や「おつり」という意味で使われます。「おつりはありません」は“Keep the change.”と言います。

13.

解答 ③

【解説】

正解は③「go shopping」です。これは店に行って物を買に行くことを意味する一般的な表現です。例えば、「I went shopping with my friends yesterday.」（私は昨日、友達と買い物に行きました）。他の選択肢は、同じ go + -ing のパターンを異なる活動に使っています。①は釣りに行く、②はハイキングに行く、④は泳ぎに行くです。

◆補足：window shopping（ウィンドウショッピング）や online shopping（オンラインショッピング）など、さまざまな種類のショッピングがあります。

14.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を失う、～に負ける」です。「lose」には二つの主な意味があります：どこにあるかわからずに何かを持たなくなること（～を失う）、そしてゲームや競争で敗れること（～に負ける）。例えば、「Don't lose your ticket.」（切符をなくさないで）や「We lost the game.」（私たちは試合に負けた）。④「緩い」は形容詞の loose で、スペルと発音が異なります。

◆補足：過去形と過去分詞形は lost です。

15.

解答 ④

【解説】

正解は④「例えば」です。「for example」という表現は、話している内容の例を挙げる前に使われます。例えば、「I like fruits, for example, apples and oranges.」（私は果物が好きです、例えばリンゴやオレンジです）。他の選択肢は異なる接続詞です。

◆補足：同じ意味で for instance も使えます。

16.

解答 ③

【解説】

正解は③「ピザ」です。日本語でもおなじみの、平たい生地の上にチーズやトマトソース、様々な具材をのせて焼いたイタリア料理ですね。「Let's order a pizza.」（ピザを注文しよう。）①「パスタ」は pasta、②「パイ」は pie、④「ピアノ」は piano です。

◆補足：ピザを数えるときは a slice of pizza（ピザ一切れ）のように、a slice of という単位を使います。ピザを配達することは deliver a pizza と言います。

17.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を欠席している」です。「absent」は「欠席の、不在の」という意味の形容詞で、「be absent from ～」の形で「(学校や会議など)を欠席している」という意味になります。例えば、「He was absent from school yesterday.」（彼は昨日学校を欠席しました）のように使います。③「～に出席している」は be present at ～ で、反対の意味の表現です。②「～に遅刻している」は be late for ～ と言います。

◆補足：「absent」の名詞形は「absence」（欠席、不在）です。風邪などで学校を休むことを伝えるときなどに使われる表現です。

18.

解答 ②

【解説】

正解は②「結婚する」です。「get married」は「結婚する」という動作や状態の変化を表す、とてもよく使われる表現です。例えば、「They will get married next month.」（彼らは来月結婚します）のように使います。①「恋に落ちる」は fall in love、③「婚約する」は get engaged、④「離婚する」は get divorced という表現がそれぞれ一般的です。

◆補足：「marry」という動詞も「～と結婚する」という意味で使えます。例えば、「She will marry him.」のように、後ろに直接相手を表す言葉が来ます。「be married」は「結婚している」という状態を表します。例：「Are you married?」（結婚していますか？）

19.

解答 ④

【解説】

正解は④「enjoyable」です。「楽しむ」という意味の動詞「enjoy」に、「～できる」という意味の-able がついてできた形容詞で、「楽しい、楽しめる」という意味を表します。「The party was very enjoyable.」（そのパーティーはとても楽しかった）のように使います。①「useful」は「役に立つ」、②「peaceful」は「平和な」、③「careful」は「注意深い」という意味です。

◆補足：「enjoyable」は何か「楽しい経験を与えてくれる」という時に使います。似た単語に「fun」がありますが、「fun」は主に名詞で「楽しみ」という意味です。形容詞として「That was fun.」（それは楽しかった）のように使うこともできますが、「an enjoyable time」（楽しい時間）のように名詞を修飾するときは「enjoyable」を使うのが一般的です。

20.

解答 ①

【解説】

正解は①の use で、「～を使う、利用する」という意味の動詞です。道具、機械、言葉、時間など、様々なものを対象として使うことができる、非常に基本的な単語です。May I use your pen?（あなたのペンを使ってもいいですか？）のように使います。②have は「～を持っている」、③make は「～を作る」、④need は「～を必要とする」という意味です。

◆補足：use は名詞としても使われ、その場合は「使用、利用」という意味になります。ただし、発音が動詞の「ユーズ」とは異なり、「ユース」と濁らない音になるので注意が必要です。the use of smartphones（スマートフォンの使用）。

21.

解答 ④

【解説】

正解は④「Hurry up」です。「急ぐ」という意味の動詞「hurry」を強調した形で、相手に「急いで！」と促すときによく使われる命令文です。「Hurry up, or we'll be late for the train.」（急いで、さもないと電車に遅れるよ。）①「Slow down」は「速度を落として」と逆の意味、②「Stand up」は「立ち上がって」、③「Give up」は「あきらめて」という意味です。

◆補足：in a hurry で「急いでいる」という状態を表すこともできます。例：I'm in a hurry.（私は急いでいます。）

22.

解答 ①

【解説】

正解は①「A に～するよう頼む」です。この構文は、誰かに何かをしてもらうよう頼むときに使われます。A は頼む相手、to do はしてもらいたい行動です。例えば、「I asked him to help me.」（私は彼に手伝ってくれるよう頼んだ）。②「A に～するよう言う」は tell A to do、③「A に～してほしい」は want A to do、④「A が～するのを許す」は allow A to do です。

◆補足：質問をするときは ask a question、頼み事をするときは ask a favor と言えます。

23.

解答 ①

【解説】

正解は①「甘い」です。sweet は、砂糖や果物などの甘い味を表す、味覚に関する基本的な形容詞です。This orange is very sweet. (このオレンジはとても甘い) のように使います。他の選択肢は、②「しょっぱい」が salty、③「すっぱい」が sour、④「苦い」が bitter で、それぞれ異なる味を表します。

◆補足：sweet は、名詞の sweets の形で「甘いお菓子」を意味することもあります。また、人の性格や言動が「優しい、親切的な」ことを表すのにも使われ、That's sweet of you. (ご親切にありがとう) は感謝を伝える定番のフレーズです。

24.

解答 ①

【解説】

正解は①「歯痛」です。「tooth」(歯)と「ache」(痛み)がくっついてできた単語で、「歯の痛み」を意味します。「I have a toothache.」(歯が痛いんです)のように、have a ~ の形で使うことが多いです。②「頭痛」は headache、③「腹痛」は stomachache、④「耳の痛み」は earache です。-ache は「痛み」を表すことを覚えておきましょう。

◆補足：歯医者さんは dentist と言います。「I have to go to the dentist.」(歯医者に行かなければなりません。)

25.

解答 ③

【解説】

正解は③の increase で、「増える、増加する」という意味の動詞です。人口、価格、量など、様々なものが増えることを表します。The number of tourists is increasing every year. (観光客の数は毎年増加している) のように使います。他の選択肢を見てみましょう。①include は「～を含む」、②invite は「～を招待する」、④decrease は「減る、減少する」という意味で、increase の正反対の言葉です。

◆補足：increase は「増加」という名詞としても使われます。その場合、アクセントは前の in に置かれることが多いです(動詞の場合は後ろの crease にアクセント)。There was a large increase in sales. (売上が大幅に増加した)。

26.

解答 ③

【解説】

正解は③「be ready to do」です。「ready」は「準備ができた」という意味の形容詞で、「be ready to do」の形で「～する準備ができています」という意味になります。「I'm ready to go.」（出かける準備ができています）のように使います。①「be able to do」は「～することができる」、②「be going to do」は「～するつもりだ、～するだろう」、④「be sure to do」は「きっと～する」という意味で、それぞれ意味が異なります。

◆補足：「準備はいいですか？」と相手に尋ねる時は、「Are you ready?」と言います。スポーツのスタートの合図「Ready, set, go!」（位置について、用意、ドン！）でもおなじみですね。「to do」の代わりに名詞を続けて「be ready for ～」（～の準備ができています）という形もよく使います。例：Are you ready for the test?（テストの準備はできていますか？）

27.

解答 ④

【解説】

正解は④「(映画などの) 監督、指導者」です。「director」は、映画や演劇の責任者で、俳優に役の演技方を指示する人です。例えば、「Who is the director of this movie?」（この映画の監督は誰ですか?）。また、会社の管理者や指導者を意味することもあります。①「医者」は doctor、②「運転手」は driver、③「辞書」は dictionary です。

◆補足：動詞形は direct（指示する、監督する）です。名詞の direction は「指示」や「方向」を意味することがあります。

28.

解答 ③

【解説】

正解は③「事故、偶然の出来事」です。「accident」は、特に乗り物での、予期せず起こり、傷害や損害を引き起こす不快な出来事です。例えば、「He had a car accident yesterday.」（彼は昨日、自動車事故にあった）。また、偶然に起こることを意味することもあります。①「行動」は action、②「活動」は activity、④「住所」は address です。

◆補足：by accident という表現は「偶然に」を意味します。例：「I met him by accident.」（私は彼に偶然会った）。

29.

解答 ④

【解説】

正解は④「もし～ならば」です。接続詞「if」は、条件を表す文を作るときに使います。「もし～なら、…するだろう」という形で、仮定の話をすることができます。例えば、「If it is sunny tomorrow, let's go to the park.」（もし明日晴れたら、公園に行きましょう）のように使います。①「～だけれども」は **though** や **although**、②「～の時」は **when**、③「～なので」は **because** などが使われます。

◆補足：「if」は「～かどうか」という意味で使われることもあります。これは、動詞の後ろに続いて「I don't know if he will come.」（彼が来るかどうか分かりません）のように使われます。まずは「もし～ならば」の基本の意味をしっかりと覚えましょう。

30.

解答 ③

【解説】

正解は③「ride」です。この動詞は、自転車、バイク、馬などに座ってそれに沿って移動するために使われます。例えば、「I learned how to ride a bike when I was five.」（私は5歳の時に自転車の乗り方を学びました）。①「drive」は車用、②「get on」はバスや電車のような大きな公共交通機関用です。④「lead」は案内するを意味します。

◆補足：過去形は **rode**、過去分詞形は **ridden** です。名詞の **ride** は、自転車や馬などでの旅、または遊園地の乗り物を意味することがあります。

31.

解答 ③

【解説】

正解は③「美しい、きれいな」です。「beautiful」は、人や物、景色などが非常に魅力的で「美しい」と感じる時に使う形容詞です。例えば、「What a beautiful flower!」（なんて美しい花なんだろう!）のように使います。②「醜い」を意味する「ugly」は、「beautiful」の反対の言葉です。①「若い」は **young**、④「おいしい」は **delicious** と言います。

◆補足：名詞の「beauty」は「美しさ、美人」という意味です。例えば、「the beauty of nature」（自然の美しさ）のように使います。副詞の「beautifully」（美しく）も便利です。例：She sings beautifully.（彼女は美しく歌う。）

32.

解答 ②

【解説】

正解は②「take A to B」です。「A を B へ連れて行く、持って行く」という意味で、人にも物にも使えます。例えば、「I'll take you to the station.」（駅まであなたを連れて行きます）や「He took his umbrella to school.」（彼は学校へ傘を持って行きました）のように使います。①「bring A to B」は「A を B へ持ってくる」で、話している人のいる場所へ近づくイメージです。③「send A to B」は「A を B へ送る」、④「get A from B」は「A を B からもらう、ゆずり受ける」という意味です。

◆補足：「take」と「bring」の使い分けは、話の中心がどこにあるかで決まります。話の中心から遠ざけるのが「take」、話の中心に近づけるのが「bring」です。例えば、家で話していて「学校に傘を持って行きなさい」なら「Take your umbrella.」、学校にいる先生が「傘を持ってきなさい」なら「Bring your umbrella.」となります。

33.

解答 ③**【解説】**

正解は③「grow up」です。この句動詞は、子供から大人へと成長することを意味します。例えば、「I grew up in a small village.」（私は小さな村で育ちました）。①「get up」は起きる、②「give up」はあきらめる、④「hurry up」は急ぐ、です。

◆補足：過去形は grew up、過去分詞形は grown up です。大人は grown-up と呼ばれることがあります。

34.

解答 ①**【解説】**

正解は①の「文化」です。culture は、ある国や地域に昔から伝わる生活様式、芸術、食、考え方などを幅広く指す言葉です。I want to learn about different cultures.（私は様々な文化について学びたいです）のように使います。他の選択肢は、②「自然」は nature、③「冒険」は adventure、④「未来」は future がそれぞれ対応する英単語です。

◆補足：culture の形容詞形は cultural で、「文化の、文化的な」という意味です。cultural event（文化的な催し）や cultural differences（文化的な違い）のように、他の名詞とセットで使われることが多いです。

35.

解答 ①**【解説】**

正解は①「exchange」です。誰かに何かを与え、その見返りに同様のものを受け取ることを意味します。例えば、「We exchanged e-mail addresses.」（私たちはEメールアドレスを交換しました）。②「excuse」は誰かを許すこと、③「excite」は誰かを非常に幸せで熱狂的な気分させること、④「exercise」は身体活動を行うことを意味します。

◆補足：名詞形も exchange（交換）です。「交換留学生」は an exchange student です。

36.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を支配下に置く」です。この表現は、何かや誰かを自分の権力や権威の下に置くことを意味します。例えば、「The new government put the area under its control.」（新政府はその地域を支配下に置いた）。他の選択肢は異なる状況を表します。

◆補足：名詞 control は多くの方法で使えます。lose control は「制御を失う」、take control は「支配権を握る」を意味します。

37.

解答 ④

【解説】

正解は④の centimeter で、「センチメートル」という長さを表す単位です。日本語の発音とほぼ同じで、記号では cm と書かれます。他の選択肢は、①gram は「グラム（重さ）」、②kilogram は「キログラム（重さ）」、③milliliter は「ミリリットル（体積・量）」を測るための単位です。何を測る単位なのかをしっかりと区別して覚えましょう。

◆補足：長さの単位には、centimeter の他にも mm でおなじみの millimeter（ミリメートル）、m の meter（メートル）、km の kilometer（キロメートル）などがあります。centi-という部分は「100分の1」を意味するため、1meter は 100centimeters になります。

38.

解答 ③

【解説】

正解は③「不可能な」です。「impossible」は、実行できない、または起こり得ないことを意味する形容詞です。例えば、「It is impossible to finish this work in one day.」（この仕事を一日で終えるのは不可能です）。①「重要な」は important、②「人気のある」は popular、④「親切な」は kind です。

◆補足：反対語は possible（可能な）です。接頭辞 im-は、しばしば単語を否定的な意味にします。例えば impolite（失礼な）。

39.

解答 ①

【解説】

正解は①「丘、小山」です。hill は、mountain（山）ほどは高くなく、比較的ゆるやかな斜面を持つ土地の盛り上がりを指します。Our school stands on a small hill.（私たちの学校は小さな丘の上に建っています）のように使います。②「谷」は valley、③「崖」は cliff、④「洞窟」は cave がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：hill と mountain の区別は感覚的なものですが、一般的には、頂上まで歩いて簡単に登れるようなものが hill、登るのにある程度の装備や体力が必要なものが mountain というイメージです。

40.

解答 ①

【解説】

正解は①「交換留学生」です。「exchange」は「交換する」、「student」は「生徒、学生」なので、二つ合わせて「交換留学生」という意味になります。学校間の交流プログラムなどで、外国から来たり、外国へ行ったりする学生のことですね。「We have a new exchange student from Canada.」（カナダからの新しい交換留学生がいます）のように使います。

◆補足：「留学する」は“study abroad”と言います。「exchange program」（交換留学プログラム）という言葉もよく使われます。

41.

解答 ①

【解説】

正解は①「謎、不思議なこと」です。「mystery」は、理解したり説明したりするのが難しい、または不可能な何かです。また、犯罪、通常は殺人事件に関するフィクションのジャンルでもあります。例えば、「I like reading mystery novels.」（私はミステリー小説を読むのが好きです）。②「歴史」は history、③「悲劇」は tragedy、④「惨めさ」は misery です。

◆補足：形容詞形は mysterious（謎めいた）です。

42.

解答 ③

【解説】

正解は③「less」です。これは little の比較級で、「より少ない量の」という意味です。money、time、water のような数えられない名詞と一緒に使われます。例えば、「I have less money than my

brother.」(私は兄よりもお金が少ない)。①「more」は反対の意味です。②「few」は数えられる名詞と一緒に使われ、少ない数を意味します。④「least」は最上級で、「最も少ない量の」という意味です。

◆補足：less の反対は more です。比較級・最上級の形は little - less - least となります。

43.

解答 ③

【解説】

正解は③「南の」です。「southern」は、方角の「南」を表す名詞「south」の形容詞形で、「南に位置する、南部の」という意味を表します。「Australia is a southern country.」(オーストラリアは南の国です)のように使います。①「東の」は eastern、②「西の」は western、④「北の」は northern と言います。

◆補足：4 つの方角を表す名詞は、東が east、西が west、南が south、北が north です。これらの単語に -ern をつけると形容詞の形になります。コンパス（方位磁針）などで “N, S, E, W” の文字を見たことがあるかもしれませんね。

44.

解答 ③

【解説】

正解は③「天気、天候」です。「weather」は、晴れ、雨、曇りといった、日々の空模様を指す言葉です。「How's the weather today?」(今日の天気はどうですか?) という質問は日常会話でよく使われますね。①「climate」は、その地域特有の、一年を通した長期的な「気候」を指します。②「温度」は temperature、④「季節」は season です。

◆補足：「天気予報」は weather forecast または weather report と言います。

45.

解答 ③

【解説】

正解は③「capital」です。capital (または capital city) は、国や州の最も重要な都市で、政府が置かれている場所です。例えば、「Tokyo is the capital of Japan.」(東京は日本の首都です)。①「castle」は城、②「captain」はキャプテンや船長、④「capsule」はカプセルです。

◆補足：capital はビジネスでは「資本金」、書き言葉では「大文字」(capital letter) を意味することもあります。

46.

解答 ③

【解説】

正解は③「～について心配している」です。「worried」は、何かについて不安を感じているという意味の形容詞です。前置詞 about は、心配の原因を示します。例えば、「I'm worried about the test tomorrow.」（私は明日のテストのことが心配です）。①「～に興味がある」は be interested in、②「～を恐れている」は be afraid of、④「～に驚いている」は be surprised at です。

◆補足：動詞形は worry です。「Don't worry, be happy.」（心配しないで、楽しくいこう）は有名な歌のタイトルです。

47.

解答 ①

【解説】

正解は①「point」です。point は、ゲームやテストで得点するために使われる単位です。例えば、「Our team won by five points.」（私たちのチームは5点差で勝った）。②「paint」は絵の具、③「part」は部分、④「pint」は液量の単位です。

◆補足：point には他にも多くの意味があります。「鋭い先端」、「特定の時間や場所」、「意見やアイデア」など。動詞としては、「指し示す」を意味します。

48.

解答 ③

【解説】

正解は③「performance」です。日本語の「パフォーマンス」と同じで、大勢の人の前での「演奏、演技、公演」などを指します。また、仕事や学業などの「出来栄え、成果」という意味でも使われます。

「Her performance on the stage was wonderful.」（彼女の舞台での演技は素晴らしかった。）①は「好み」、②は「許可」、④は「準備」という意味です。

◆補足：動詞の perform（演奏する、演じる）から派生した名詞です。

49.

解答 ②

【解説】

正解は②「(建物の) 階」です。「floor」は、部屋の「床」という意味でよく知られていますが、建物の「階」という意味でも非常に重要です。問題文は「私の事務所は3階にあります」という意味です。

③「床」も **floor** の正しい意味ですが、この文脈では②が適切です。①「ドア」は **door**、④「屋根」は **roof** です。

◆補足：「1 階」は **the first floor** と言いますが、イギリス英語では 1 階を **ground floor**、2 階を **first floor** と数えるので注意が必要です。

50.

解答 ②

【解説】

正解は②「本当に、とても」です。「**really**」は副詞で、形容詞や動詞を強調して「本当に」「とても」という意味を表したり、文全体を修飾して「本当に？」と事実を確認したりする時に使います。例えば、「**This cake is really good.**」（このケーキは本当においしい）や、「**Really? I didn't know that.**」（本当ですか？知りませんでした）のように使います。①「たぶん」は **maybe**、③「いつも」は **always**、④「ほとんど～ない」は **hardly** などで表現します。

◆補足：「**really**」は形容詞「**real**」（本当の、本物の）に **-ly** がついて副詞になった形です。「**real**」を使った例としては「**a real diamond**」（本物のダイヤモンド）などがあります。会話で「**really**」は相づちとしても頻繁に使われる、とても便利な単語です。
